

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年4月19日 (2018.4.19)

【公開番号】特開2016-210919(P2016-210919A)

【公開日】平成28年12月15日 (2016.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-068

【出願番号】特願2015-96958(P2015-96958)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 L 101/14 (2006.01)

C 0 8 K 5/053 (2006.01)

C 0 8 L 71/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 K 8/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 K 8/64 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 101/14

C 0 8 K 5/053

C 0 8 L 71/02

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/02

A 6 1 K 8/73

A 6 1 K 8/64

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月8日 (2018.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

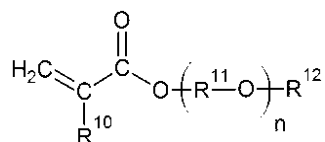
【請求項 1 4】

前記アクリル酸系両親媒性コポリマーが、下記 B 群から選ばれる 1 種又は 2 種以上の親水性モノマーから誘導される構成単位 (b) を含むことを特徴とする、請求項 1 3 に記載の組成物。

B 群：重合性カルボン酸、下記一般式 (I V) で表されるコポリマー、下記一般式 (V I) で表されるコポリマー、下記一般式 (V I I) で表されるコポリマー及び下記一般式 (V I I I) で表されるコポリマー

一般式 (I V)

【化 4】

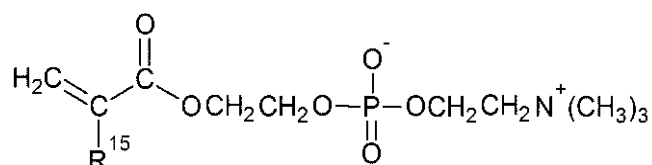


(I V)

(一般式 (I V) 中 R¹⁰ は水素原子または炭素数 1 ~ 3 のアルキル基を表し、R¹¹ は水酸基を有していてもよい炭素数 2 ~ 4 のアルキレン基を表し、R¹² は水素原子、炭素数 6 ~ 10 の芳香族炭化水素基、炭素数 1 ~ 14 の脂肪族炭化水素基又は炭素数 1 ~ 12 のアシル基を表す。n は 6 ~ 40 の整数を表す。)

一般式 (V I)

【化 5】

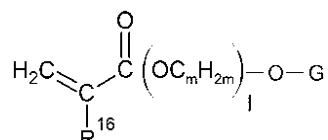


(V I)

(一般式 (V I) 中 R¹⁵ は水素原子またはメチル基をあらわす。)

一般式 (V I I)

【化 6】

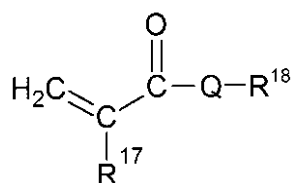


(V I I)

(一般式 (V I I) 中 R¹⁶ は水素原子またはメチル基を、G - O - は還元糖の 1 位の水酸基より水素を除いた基を表す。m は 2 又は 3 を、l は 1 ~ 5 の整数を表す。)

一般式 (V I I I)

【化 7】



(V I I I)

(一般式 (V I I I) 中 R¹⁷ は水素原子またはメチル基を、R¹⁸ はアミノ酸残基、ポリアミン残基又はアミノアルコール残基を表す。Q は酸素原子又は NH で表される基を表す。)

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

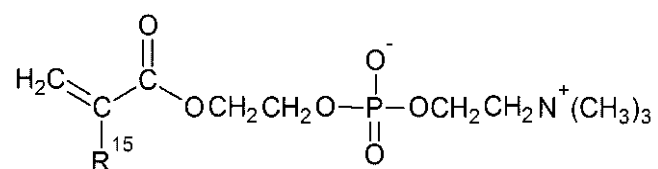
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

一般式 (V I)

【化 5】



(V I)

(一般式 (V I) 中 R 1 5 は水素原子またはメチル基をあらわす。)

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 1

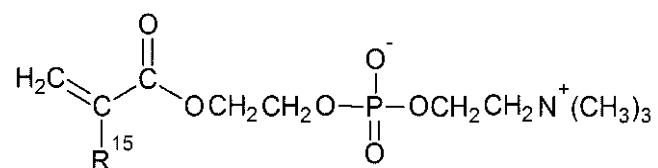
【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 1 】

(一般式 V I)

【化 9】



(V I)

(一般式 (V I) 中 R 1 5 は水素原子またはメチル基をあらわす。)